

日々の田高（第15回 ビブリオバトルを行いました。）

12月24日、本校の1年生と2年生を対象とした、ビブリオバトル大会を行いました。本校の大会は、学年ごとに実施されます。クラスで代表に選出された生徒が、同じ学年の生徒（聴衆）の前で、自分が紹介する作品の魅力を語ります。運営は、行事班を中心とした図書委員が行います。

そして、学年ごとに、投票が行われ、もっとも読みたい作品は、田高チャンプ本となり、話者が表彰されます。また、魅力的なプレゼンテーションを行った生徒には、演出賞が贈られます。今年は、2年生の演出賞は、2名となりました。

話者は、紹介する作品の魅力を語ります。特に、私が感じたのは、紹介本の展開の魅力を語るとともに、著者が語りたであろう、人の生き方や本質を、話者の考えや喜び、葛藤、悩みなどに結びつけて、自分目線で紹介してくれたことです。

例えば、「普通ってなんだろう？」生徒は、本の紹介を通して、自分に向き合い、私たちに投げかけます。一步踏み込んだ、何が、日々の生活にとって大切なのか考えさせてくれるような、一人ひとりにとって、大切な時間になったと思います。

発表者の皆さん、運営の皆さん、そして、質疑応答の際に、活発に質問を投げかけてくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。



発表者が、紹介した作品を聴衆に見せます。